

HACHIMAN  
Kawara-ban  
HONOBONO-Tsushin

# 八幡堀と町衆の433年の道のり

## 通信 八幡堀界隈 版

2018 Vol.42

知って得して、見て得して、町の歴史 手漕ぎ和舟



ご予約は 0748-36-5115

情緒ある手漕ぎ和舟でゆったり船頭がご案内する八幡堀めぐり



僧侶・漢詩人 六如「りくによ」 苗村慈周 西元町

六如は享保19年(1734)西元町に生まれ、父は医師の苗村介洞です。7、8歳の頃より好んで書を読み、小詩を作って利発な児でした。父母は彼の天性を見ぬき11歳で比叡山(天台宗の観大僧正に預け、剃髪し仏学を修め、近江彦根の野村東阜(のむらとうご)に詩文を学びました。13歳の折、大僧正に從つて武蔵国(現埼玉県)川越の喜多院に入りました。宝暦7年(1757)には京都の善光寺の住持となり、24歳の時、江戸・東叡山善光院に住み、輪王宮一品法親王(いっぽんほうしんのう)の寵遇(ちようぐ)をつけて一時はその事務顧問を勤めました。

天台僧としては地位が高く、仏典にもかなりよく通じていた輪王寺門主の公遵法親王に從つてたびたび江戸に下り江戸の詩人とも交遊し、江戸では明静院に住して、儒学者の井上金峨(いのうえきんが)と交流し服部南郭門下の宮瀬竜門(みやせりゅうもん)に古文辞を学び、儒学・仏学に通じました。

安永6年(1777)に六如は江戸に呼びもどされ、正覚院に入りました。当時江村北海が「賜杖堂詩社」(しじょうどうししゃ)を興し、芥川丹丘・葛子琴らと新奇な詩材や表現を好み写実的な宋詩を模範として新詩風を興し、六如もその盟友となり、江戸に先駆けて詩をおさめました。荻生徂徠派(おぎゅうそらい)の詩風から宋詩に興味が移つた詩風の革新に務め、近世における詩壇の宗匠と評され、市川寛齋・山本北山に始まる宋風新詩鼓吹の先駆をなした点で注目されました。

45歳の元旦に輪王寺宮に拜謁の折、浅紫法衣を特に恩賜されました。彼は大切に住居し重職にしがいましたが、富貴を嫌い、高位につくことを望みませんでした。高位に任ぜられても民衆の間に在る日と変わらず、身辺を飾らず貧富を以つて人を別け隔てせず、朝夕悠々としてその地位に安んじていたといわれていました。彼は浅草寺官舎の西寄りに新たに小齋を構えました。その寓居は墨田のあたりで富嶽を望む景勝地であつたので望嶽亭(ぼうがく)と名付けられました。

49歳の時、法親王が山科に隠棲(いんせい)され、京都真葛原に住しました。52歳より5年間、江州(現滋賀県)柏原の成菩提院の主となりますが一方法親王に仕える身であるため柏原と山科を往復したと言われています。55歳の時、法親王が薨去せられたので職を解かれ、もっぱら柏原の山中に隠棲し、愉樂亭と号し、且つ夕べ山野を跋涉して詩を温めていたといわれていました。56歳、柏原を去つて愛宕山勝地院の主となりました。同郷の伴蒿蹊は京都の大仏寺の辺り寓居していました。それを機に六如は、幼なじみの伴蒿蹊(ばんこうけい)に祝詩を贈っています。

仲秋に、六如(59歳)と伴蒿蹊(60歳)とともに郷里近江八幡に帰り、義純上人を迎え、その弟子と長命寺に舟を出し、湖上に賞する長詩一篇を賦しました。寛政9年(1797)、六如菴詩鈔二篇を完成しました。9月西嵯峨無著庵より一条坊一院に移り寛政12年(1800)暮より病に伏せ、翌享和元年(1801)3月、享年68歳で永眠しました。著作に「六如庵詩鈔」「葛原詩話」など。

①以前に八幡商人伴庄右衛門(現在の伴家住宅・新町)を取り上げました。五代目は・商人として活躍しましたが若くして隠居し、伴蒿蹊と称し国学者として名を馳せました。また歌人、閑田盧と号を称し漢学仏典に通じており、六如の影響を大いにうけていました。同時に六如も天台僧としては地位が高く、また近世における詩壇の宗匠と評されていました。2人は八幡出身で幼なじみでした。(六如・伴蒿蹊の研究と出版を近江八幡市北元町在住の山本稔氏がされておられます。)

※参考文献 近江八幡人物伝 近江八幡郷土史会刊 抜粋/ 淡海六如釋慈周の世界 山本稔発行



Essence of Nunobikiyaki

## 布引焼窯元展 in 近江八幡

2018年12月4日(火)～9日(日)  
10:00～17:00  
すみれラボ ギャラリー

＜太陽からの風＞小嶋太郎



布引焼窯元 \* 527-0042 東近江市外町466 \* www.nunobikiyaki.jp \* 0120-99-44-56

### お詫びとお礼

前号では多くのご意見有難うございます。ご賛同の意見ばかりいただきました。「豊臣秀次」は八幡山城を築城し開町した天正十三年閏八月二十二日(新暦1585年10月15日)に「八幡開町の日」と考えます。一部、開帳と記載しましたが開町です。訂正とお詫び致します。今後情報を発信して参りますので宜しく願います。 ※発送をもって代えさせて頂きました。

六如「りくによ」 苗村慈周は近江のどこで生まれたでしょう。近江八幡〇〇町

抽選で5名様にCafe & shop SHINMACHIの「ケーキセット」ペア券をプレゼント致します。 ※当選者の発表は、発送をもって代えさせて頂きます。ご希望の方は答え・郵便番号・住所・氏名・電話番号を記入の上、官製はがき又はFAXで応募下さい。

〒523-0837 近江八幡市大杉町30の1(有)ほのぼの館クイズ係 FAX 0748・32・3514

応募〆切 12月10日 必着

## 和食麵処 サガミ

サガミ近江八幡店



忘年会 / 新年会  
ご予約賜り中  
飲み放題お一人様1,600円+税  
2名様以上2時間まで(グループ全員でご注文頂きます)

店長おすすめ料理  
近江牛すき鍋とお刺身和膳 [50g] 1,990円(+税)

〒523-0892 近江八幡市出町456  
営業時間 / 11:00～23:00 (ラストオーダー 22:30)  
定休日 / 年中無休 TEL 0748-33-4322

## Sumire Lab.

すみれラボ

すみれラボギャラリー  
株式会社ダイゴ  
ブーメラン通り

※ 近江八幡駅より 徒歩7分

たねや様  
ひさご寿し様  
市役所  
商工会議所

〒523-0894 滋賀県近江八幡市中村町20番地(株式会社ダイゴ本社ビル1F) TEL 0748-33-4181





お誕生日・記念日 花束プレゼント (12月の方) 3名様

※必ずお誕生日を明記下さい

花王アタック1キロ8個入り (1ケース) 5名様

[トマトカード番号の記入をお願いします]

\* 秋季特別展Ⅱ 百の手すさび

近代の茶杓と数寄者往来 MIHO MUSEUM 12月2日迄 50名様

\* 特別展 信楽に魅せられた美の巨匠たち

滋賀県立陶芸の森 陶芸館 12月20日迄 50名様

\* 2019年度 京都新聞オリジナル手帳

12月25日迄 50名様

ご希望の方は郵便番号・住所・氏名・電話番号・希望の品一品をご記入の上、官製はがき  
又は FAX で下記販売所まで、ご応募下さい。抽選でお送りします。

締切 花束 洗剤、チケット等 11月30日迄 ▶ 当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。予めご了承ください。

〒523-0867 近江八幡市魚屋町元9 京都新聞近江八幡販売所 TEL 32-2743 FAX 32-3504

café & shop  
**SHINMACHI**

近江八幡市立資料館内 入館料はおりません。  
※文化伝承館(左義長会館)元新町交番横よりお入りください!  
営業時間▶10:00~16:00  
定休日▶月曜日(観光シーズンは不定休)  
〒523-0871 滋賀県近江八幡市新町2丁目 資料館内  
カフェ&ショップ 新町 (Chief▶090-6247-0831)

葎(ヨシ)のシフォンケーキや  
葎うどんセットがおすすめです

レギュラー  
**LIVE**

Taisyogoto DUO  
参加無料 ニコル

ニコルの「大正琴の世界」  
にお越し下さい!

**12/16 SUN**

①11:00~②13:00~③14:30~  
カフェショップ横イベント広場 近江八幡市立資料館主催

**100% 近江八幡**

ふるさとを贈る喜び。近江八幡をいただく幸せ。  
冬の贈り物 地元工芸品や和雑貨が  
いっぱい楽しいお店

A 4,000円コース

- 近江牛カレー缶
- 丁字麩(小・味噌付き)
- 赤こんにやく(大)
- 黒田主船
- でっち羊かん
- 葎うどん(2袋)
- 葎せんべい(3袋)
- 手まり麩

A 3,000円コース

ご予算に合わせて、自由  
に詰め合わせできます。  
※送料別途

B 2,600円コース

12月10日迄にお申し込みの方

A・地域物産セットお買い上げの方には八幡堀絵はがき(春・冬)2枚が付きます。  
B・葎うどん、葎せんべいセットお買い上げの方には葎ハガキ3枚入りが付きます。

店内は近江八幡のオリジナルの物産や工芸品が  
並ぶ楽しいスペースです  
近江八幡の新名物「葎うどん」が食べられる喫茶  
コーナーもございます

〒523-0837 近江八幡市大杉町30-1  
営業時間/10:00~16:00(土日祝17:00)  
定休日/水曜日 TEL 0748-36-5115